

事業所名

こども発達サポートのびいく

支援プログラム

作成日

R6 年

12月

23日

法人（事業所）理念		私たちの施設は、言語及びコミュニケーションの能力の発達を支援することを使命とします。言語聴覚士による専門的な訓練を通じて、個々の子どもたちの成長に寄り添い、子どもたちが自己表現力を身につけ、社会とのつながりを深めていけるよう支援します。私たちは、家族や地域社会との協力を大切に、温かく安心できる環境を提供することで、子どもたちの可能性を最大限に引き出します。		
支援方針		1：個別性を重視した支援 2：コミュニケーション能力の包括的支援 3：家族との連携 4：安心できる環境の提供 5：地域との連携 6：専門的知識の向上		
営業時間		9：00～17：00	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	毎回検温と健康状態のチェックを行い、言語聴覚士による言語訓練を行います。		
	運動・感覚	お子さんの状況に合わせた椅子や机を準備し、向かい合って活動に取り組みます。道具操作の獲得や読み書きの土台作りを目指し、手指の活動や目と手を協調的に動かす活動も行います。 必要に応じて、お子さんの感覚特性を考えた環境設定や支援を行います。		
	認知・行動	アセスメントより、お子さんの発達段階に対応した数量・形・大きさ・重さ・色等の概念形成をはかる活動に取り組みます。（例：パズル等の構成課題 見本合わせ課題 物の様子等を言葉と結びつけて抽象概念を学ぶ機会を設ける 数量課題など） 1人1人のお子さんの認知特性に合った環境設定および支援を行います。		
	言語 コミュニケーション	各種言語評価（LC-R・SS法・絵画語彙発達検査・構音検査・質問応答関係検査）を実施し、個々の言語及びコミュニケーション能力に合わせた、オーダーメイド式の訓練プログラムを立案し、言語聴覚士が言語訓練を行います。「話す」「聞く」だけでなく「読む」「書く」の側面に対しても支援します。		
	人間関係 社会性	個別療育ではお子さんの興味や関心に基づき、大人が反応的に関わることに重きを置いています。そういった関わり合いの中で、自分の要求や考えを「分かってもらえた」という満足感につながり、「伝えたい」というコミュニケーション意欲が向上します。		
家族支援		出来る限り支援場面の観察や参加の機会を設け、ご家族と支援の様子を共有し家庭と事業所での包括的な支援を行います。 困りごとがある場合は、管理者にいつでも相談できる環境を整えます。	移行支援	必要があれば、園や学校でのコミュニケーション方法について、先生方と情報を共有する機会を設けます。また就学前のお子さんにはサポートブックを作成し、新しい環境に適応できるよう支援します。
地域支援・地域連携		お子さんの成長を見据え、関係機関で連携を図ります。 必要があればたけつな小児科クリニックと連携し、発達相談の利用に繋がります。	職員の質の向上	毎週カンファレンスを行います。 職員の各種勉強会や研修への参加を促しています。（研修費の支援有）施設内でも勉強会を行います。
主な行事等		避難訓練（地震 火災 水害 防犯等）		